

◆技術改良試験（重点普及課題）

オキナワモズク人工苗床実証試験（本部地区）

水産業改良普及センター本部駐在 中村勇次・平安名盛正

1. 目的

モズク養殖の苗床としてアマモ場やサンゴレキ等の底質漁場が利用されている。芽出し時期は、網を揺らすと生長がよいといわれているが、漁場によっては網を緩く張ると擦れるところもあり、網を十分に揺らすことができない。久米島においては育苗時に種付け網の下に敷き網を使用することにより、スレを減らし芽出しをよくすることができるとされており、その実証試験を本部町地先において実施した。

2. 材料及び方法

本部漁協モズク養殖生産部会の協力のもと、健壁在住の我部氏と備瀬在住の天久氏に敷き網試験を依頼して実施した。本部漁協モズク養殖生産部会では例年12月下旬から種付けを始めるが、今年は部会の取り決めとして、種付けを1ヶ月遅くすることとなった。その決定に合わせて、試験も遅くなった。種付けを1ヶ月遅くする理由として、昨年のは12月下旬種付け、1月上旬に沖出し、4月中旬～5月中旬までに収穫した。このもずくを塩造にした場合、熟度が悪いものが多く、メーカーサイドからのクレームが多かった。（最悪の場合返品）しかし、6月以降の収穫モズクは塩造にしても品質もよく、完売できた経緯から、今年は収穫を遅くさせることになった。種付けは、培養から種付け作業までを我部氏に依頼し、沖出しまでの条件を統一できた。平成22年1月14日に種付け開始（8Lの4本）した。1月23日に水槽内の培養種入り海水を排出、生海水のみに入れ替えた（水温20.5℃）。同年1月24日に我部氏の試験用として40枚を沖出しした（水温21℃）。我部氏は、昨年は塩川地先での育苗を行っているが、珪藻

の付着が著しいとの事から、育苗場所を浜元地先に変えて実施した（マグロ養殖場北側）。天久氏も我部氏と同日の1月24日に備瀬において沖出し。2月2日我部氏と浜元地先の育苗現場を調査実施。網一面が色付いている。敷き網の有無に関係なく、網の色付きに変わりはない様子。我部氏はその日で水納島の本張り場に移設。2月3日天久氏と備瀬地先において育苗中の網の芽だし状況を調査。網自体は白く、まだ、芽出しの様子は見られない。説明不足からか、網も予定の20枚から10枚となっていた。また、敷き網の上に10枚を重ねているため、比較試験を改めて説明し、5枚ごとに分けるよう指導。2月4日に5枚ごとに分割し、敷き網試験を開始した。

3. 結果及び考察

平成22年5月18日に備瀬地先で天久氏の試験網を収穫した。敷き網ありと敷き網なしをそれぞれ5枚ずつ収穫し、収穫量は、敷き網あり615.5kg、敷き網なし693kgであった。これを1枚あたりに換算すると敷き網あり123.1kg、敷き網なし138.6kgであった。

平成22年5月19日に水納島で我部氏の試験網を収穫した。敷き網あり6枚と敷き網なし3枚を収穫し、収穫量は、敷き網あり1019.5kg、敷き網なし369kgであった。これを1枚あたりに換算すると敷き網あり169.9kg、敷き網なし123kgであった。また、我部氏によると芽出しは両試験区とも変わらず、本張りしてからは敷き網なしが伸びていたが、芽切れがあったので収穫のタイミングで敷き網ありが良い結果になったのではないかと意見があった。

4. 今後の課題

今回の結果で水納島漁場では、敷き網ありの試験区が良い成績となったが、昨年と同漁場では、逆に敷き網なしが良い結果を出している。また、備瀬地先で敷き網なしが良い結果を出しているが、昨年の瀬底島南漁場で敷き網ありが良い結果となっており、年と漁場により結果がばらついている。これらのことから、本部地区の漁場では敷き網が必ずしも良好な成績を収めてはいない。モズク育苗における敷き網については本部では、本張り場に移設する場合におい

て、サンゴの引っ掛かりが少なくなり、引き揚げる際の労力軽減においては効果があるということは何の漁業者も評価している。今後は、北風の強い水納島の本張り場で、育苗から実施し、スレ防止を目的として用いれば、塩川での育苗が必要なく、時間と労力の軽減ができる。そもそも、敷き網試験の目的は、敷き網の有無による生産量の比較だけでなく、本部のような養殖海域の少ない地域において漁場の効率的な活用と労力軽減を今後は試験調査する必要があると思われる。

表 1 人工苗床実証試験結果

地 先	低 質	試験区	収穫枚数	収穫量	網 1 枚当たりの収穫量
備瀬値先	砂礫	敷き網あり	5 枚	615.5kg	1 2 3. 1 kg
備瀬値先	砂礫	敷き網なし	5 枚	693kg	1 3 8. 6 kg
水納島	砂地	敷き網あり	6 枚	1,019.5kg	1 6 9. 9 kg
水納島	砂地	敷き網なし	3 枚	369kg	1 2 3 kg



① 1月14日から種付け開始



②本部漁協で使用している培養種



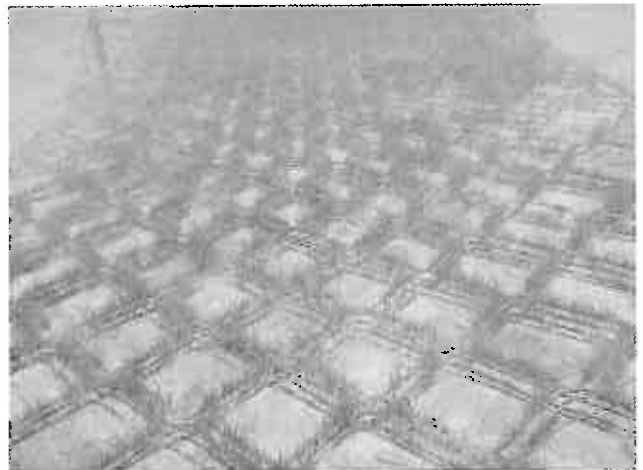
③ 2月2日 浜元地先苗床敷き網あり



④ 2月2日 浜元地先苗床敷き網なし



⑤ 3月17日 水納島周辺漁場



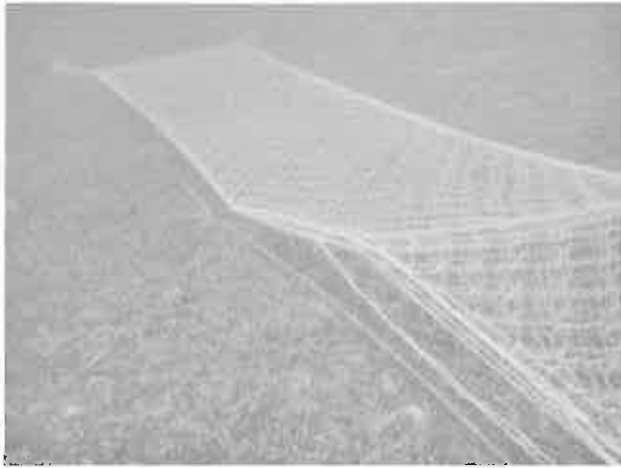
⑥ 3月17日 水納島周辺漁場



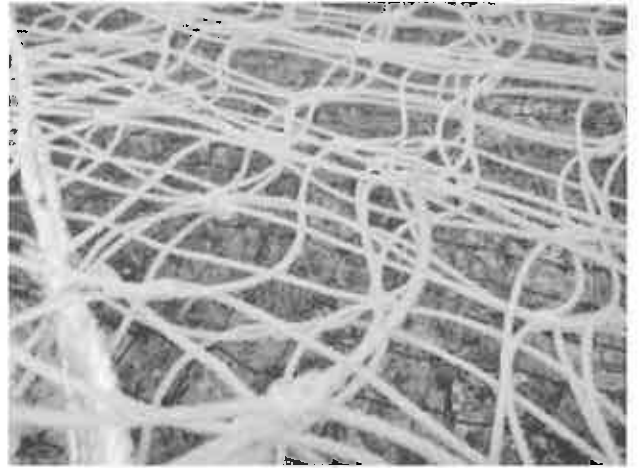
⑦ 5月19日 水納島収穫前 敷き網あり



⑧ 5月19日 水納島収穫前 敷き網なし



⑨ 2月3日 備瀬苗床漁場



⑩ 2月3日 備瀬苗床漁場



⑪ 3月19日 備瀬敷き網試験本張り



⑫ 3月19日 備瀬敷き網試験本張り



⑬ 5月18日 備瀬敷き網試験収穫



⑭ 5月18日 備瀬敷き網試験収穫